

東京湾再生官民連携フォーラムの活動

東京湾の環境再生に向けた活動や協働の輪を広げることを目的として、平成25年11月に「東京湾再生官民連携フォーラム」が設立され、東京湾再生推進会議への「政策提案」の実施、9つのプロジェクトチーム(PT)へのサポート実施、東京湾大感謝祭の開催、交流会の開催、施設見学の実施などの活動をおこない、官民が連携・協働した取組の輪を広げています。

<政策提案実績> ※提案書は「東京湾再生推進会議」に提出

- 平成26年11月17日「新たな指標に関する提案」と「指標についての解説書」を提案
- 平成28年 2月18日 マコガレイの産卵場を再生するため等の「生き物生息場づくりに関する提案」
- 平成29年 3月30日「東京湾パブリック・アクセス方策に関する第一次政策提案」

東京湾再生アンバサダー

東京湾の魅力や東京湾再生の必要性を広く、わかりやすく伝える「東京湾再生アンバサダー」
榎太一（ます たいち）アナウンサーと赤城乳業株式会社「ガリガリ君」



榎太一 アナウンサー

日本テレビ放送網株式会社 アナウンサー



ガリガリ君

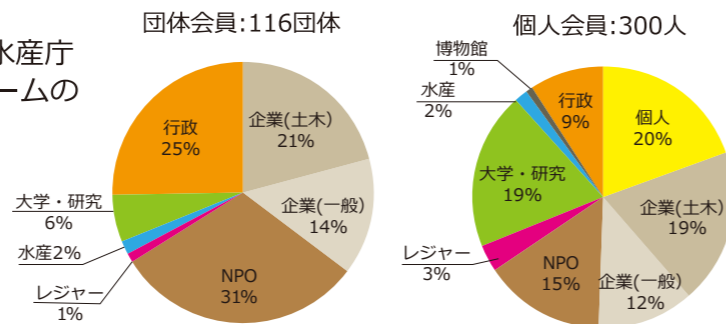
赤城乳業株式会社 キャラクター

会員制度

- ・東京湾の環境再生活動に取り組んでいる個人、組織・団体との連携
- ・年1回 東京湾の自然の恵みに感謝をこめて、東京湾大感謝祭の実施
- ・年1回 会員総会、年4回 企画運営委員会の開催
(活動方針の検討) 国交省、海上保安庁、環境省、水産庁を含め関東エリア9都県市の参加、プロジェクトチームの参加による官民連携活動
- ・会員のプロジェクトチームへの参加、会員連携の実施などの 諸活動
(PTメンバーは募集期間があります。)
- 会員の方には、メール：東京湾-News Letterの配信
事務局からのPTチーム支援
課題解決のための調査・コンサルティングなどの相談

<フォーラム会員の構成>

平成30年4月1日現在



会員募集中

お申し込み受付は、ホームページ下記のアドレスまで
<http://www.tbsaisei.com/>

東京湾再生官民連携フォーラム 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目1番10号 第2虎門電気ビルディング4F
一般財団法人 みなと総合研究財団内 TEL03-5408-8298 FAX 03-5408-8741

セブン-イレブン 記念財団

この事業は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団からの多大なご支援を受けております。



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。

2018.5作成

東京湾再生官民連携フォーラム活動のご案内

ご存知ですか？
東京湾からの恵み
東京湾の再生活動

会員
募集中

みんなの東京湾 みんなで再生

東京湾の再生に向けて
プロジェクトチームが活躍
活動の輪が広がっています



目標

快適に水遊びができ、
「江戸前」をはじめ
多くの生物が生息する、
親しみやすく美しい「海」を取り戻し、
首都圏にふさわしい
「東京湾」を創出する*

フォーラム・アクション

東京湾再生官民連携フォーラムの活動は、東京湾を再生することをめざして平成25年11月23日にスタートしました。フォーラムには、現在9つのプロジェクトチームがあります。美しい東京湾の未来環境を目指したグループが集まり、連携し、シンボルともなる「江戸前」を身近に感じる東京湾に取り組んでいます。東京湾で遊ぶ、学ぶ、働く、住む、楽しむ、食べる、勤めるなど、東京湾に想いのある方や会員の方々によりフォーラムの活動は支えられています。プロジェクトチームの活動を通して生み出される政策提案は、フォーラムで取りまとめられて、東京湾再生に役立てていきます。



Welcome to Tokyo Bay

フォーラム・プロジェクト・チームの活動

9つのプロジェクトチーム(PT)が東京湾での活動にチャレンジ

東京湾環境モニタリングの推進 PT

みんなで知る江戸前の海、東京湾の健康診断・環境を探ります。毎年、「東京湾環境マップ」を作成！

- 東京湾環境一斉調査等を毎年行い、東京湾の環境を見続けています。その調査をまとめて環境マップとして発表しています。海の生きものにとって大切な酸素量(DO)や酸素が必要な量(酸素消費量・COD)などが一目でわかります。
- 環境マップ作成のための環境調査には、沢山の方々がいる。約100以上の機関が参加して、今年は10回目を迎えます。



生き物生息場づくり PT

生き物の生息場を創出するアイデア提案を行います。東京湾に棲む生き物に注目したら…たくさんの種類が見えてきます。

- 生き物の生息に適した場の創出に関するアイデアを提案し、基本的な考え方をとりまとめました。東京湾にはいろんな種類のお魚が棲み着いたり、遊びにきたりしています。ハゼやあなごやカレイなど。みんな快適な環境を探しています。
- 平成27年には生き物生息場づくりの基本的な考え方及び進め方についてと具体的にマコガレイの産卵場を再生するための政策提案書を提出。今は提案書に結びついた第二期目の活動です。



江戸前ブランド育成 PT

東京湾を代表する「江戸前」今の江戸前の魅力をみんなで創り出そう！

東京湾・江戸前ブランドの豊かさ、その魅力を伝えます。



- 東京湾の海の幸のことで知らいただき、家庭の食卓で食べていただくことこそが大切
- 多くの魚介類が獲れる東京湾の魅力を「江戸前」という言葉にのせて、加工品や料理の魅力を具体的に味わうことのできる東京湾・江戸前ブランド、食育とともに探求していきます。

東京湾大感謝祭 PT

21世紀にふさわしい東京湾を目指して東京湾からの恵みに感謝！みんなで東京湾を楽しもう横浜・赤レンガ倉庫で毎年10月東京湾大感謝祭開催！！

東京湾大感謝祭は、海の再生を考え、行動するきっかけ作りとして、2013年秋、フォーラムと共に秋に東京湾の恵みに感謝する意味を込めてスタートしました。今では、横浜赤レンガ倉庫とその周辺海上で約9万人の市民、企業、団体、国、自治体の方々が参加するイベントに成長しています。

これからも21世紀にふさわしい東京湾を描くため毎年海に親しむことをテーマに、遊び、学び、楽しみます。是非、会場にお越しください。



東京湾の活動 見つけよう、楽しもう、学ぼう、みんなで再生

東京湾再生のための行動計画の指標の活用PT

指標を活用して、東京湾の再生がひとめでわかるデータ収集

東京湾を表す方法をたくさん検討してきました。そのガイド役となるのが、「指標」です。新しく東京湾を表す指標をつくり



ました。東京湾を知る指標には、生きものの生息場所、ごみの量や公園施設利用者数、イベント開催回数など、さまざまな指標が有効です。みんなの研究成果が、平成27年から東京湾再生推進会議で採用されました。今後の活動は、みんなで有効に活用できる指標データをサポートします。

- ①行政(東京湾再生推進会議)とNPO・民間(企業)、大学・研究機関との情報共有のサポート
- ②市民活動データ収集のサポート
- ③指標に関する相談をおこないます

東京湾パブリック・アクセス PT

東京湾に新しい発見を探しに行きましょう。

みんなが手軽に海に接することができるように、海辺に親しむルートの検討・発見を行います。平成28年は、そのルートの上手な活用や海辺の施設利用などをすすめる「東京湾パブリック・アクセス方策に関する第一次政策提案」を行いました。



- みんなが手軽に海に行ける既存のアクセスを広く紹介します。
- 都民、市民、生活者が利用できる海浜公園の活用方法を検討します。
- 情報提供機能の充実を進めていきます
- 平成29年からは、自治体、企業、NPOの方々との連携を深め、まだ身近でない海辺へのルートの発見にチャレンジして行きます。

東京湾での海水浴復活の方策検討 PT

東京湾で海水浴実験！葛西海浜公園

- 毎年、東京湾で海水浴の可能性検討や実証実験にチャレンジしています。
- 海水浴社会実験・葛西海浜公園西なぎさにおいて、海水浴体験イベントを実施しています。夏の開催期間も長くなり大勢の方が体験しています。



東京湾浅瀬再生実験 PT

生きものにとって浅瀬が最高の遊び場、生活の場所、浅瀬は大切

つくろう浅瀬、最初は実証実験をめざします。(老朽化し役割転換が必要な直立の護岸を実験的浅瀬に再生チャレンジ)

- 東京湾のさまざまなエリアの情報、実情を学んでいきます。



東京湾の窓 PT

東京湾にも干潟があるよ。楽園干潟施設のネットワークをつくろう！

東京湾は自然・文化の宝庫、今までの歴史・文化・自然…を紐解きながら、その資源をまとめ活用を広げます。



- 東京湾にある施設、海上・海浜公園などの連携をはかります。
- 施設内で行われるイベントを連携しながら相互に広報活動を行う仕組みを検討
- みんながいっぱいきてくれるような施設共通のコンテンツの作成にチャレンジ